

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	23447	
事業名	消防施設庁舎監視システム機器更新整備費						
評価担当課	所 属	消)総務部 施設管理課			電話番号	011-215-2030	
施策名	強じんな消防・救急体制が構築され、市民の安全・安心が守られて						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	アクションプラン2015及びアクションプラン2019で、平成29年度から令和2年度にかけて消防施設庁舎監視システムを更新した。当該システムは消防の災害出動体制には必要不可欠なシステムであり、迅速な出動体制の維持を図るとともに、大規模災害や異常気象等の自然災害時に非常用車両を迅速に運用できる体制の整備を行った。当該システムは12年程度を目標に運用する予定である。 当該システムの構成機器にはメーカーで推奨の交換周期が設定されており、重要な構成機器は5年から9年程度の耐用年数とされており、更新が必要となる。					
	事業内容(何を実施し)	現在の消防施設庁舎監視システムの構成機器を更新整備し、安定したシステムの稼働を維持することで迅速な出動体制を確保するとともに、出動等で不在となった消防出張所での市民サービス向上と災害対応力を維持する。当該システム機器には、メーカーで推奨の交換周期が設定されており、故障により運用に支障が発生する前に耐用年数を迎える機器を交換整備することでシステム障害の発生を未然に防ぎ、迅速な出動体制及び出張所不在時の市民対応について維持を図る。 令和5年度取り組み内容 当該システムを運用している消防施設全53施設のうち、消防局を含む13施設で機器更新を行った。					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	市民サービス向上と災害対応力を維持したい。					
	他都市の状況	他政令市20都市において、12都市が機械による庁舎監視システム等により施設の管理を行っており、他の8都市は人員による管理(職員が不在とならない)体制をとっている。					
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外					
令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工		
令和5年度予算額	29,000 千円	うち特定財源	21,000 千円	正規職員業務量	1 人工		
令和5年度決算額	28,930 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1 人工		
令和6年度予算額	10,000 千円	うち特定財源	7,000 千円	正規職員業務量	1 人工		
指標	アウトプット活動指標1	システム機器更新施設数(全53施設)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
			13施設	13施設	12施設	13施設	15施設
	↓						
	アウトカム成果指標1	システム安定稼働率				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
			100%	100%	100%	100%	100%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	機器の老朽化によるシステム障害は発生せず、安定稼働できている。今後も計画通り進めていく。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	なし。						
来年度以降の方向性	現状維持とする。						